

2023 年度 フィリピン Macro Asia Airport Services Corporation

海外インターンシップ参加レポート

国際交流学部 国際交流学科

実習では、セブ国際空港内のフィリピン航空や中華航空のチェックインカウンターでの業務や、搭乗口での搭乗サポート業務などを経験しました。

私は積極的に話しかけるのが苦手だったので最初は一步踏み出せなかったのですが、意識して自分から動くよう心掛けました。すると周りの人からの評価では積極的との評価をもらいました。自分ではこれまで意識していなかったのですが、準備をしっかりすること自体が「積極的」ととらえてもらっていることが新しい発見となりました。

成田行きの便を担当した際は、お客様も私が日本人だとわかると安心して話しかけてくださるようになるので、こちらから積極的に話しかけることを心掛けました。また、遅延しそうな便のお客様を、搭乗手続きや順序を柔軟に行うことによって定刻にご案内することができた時は、達成感を感じました。

実習中苦労した点は、フィリピンの国内線を担当した際、現地のフィリピン人の人たちは英語ではなく現地語を使うため、コミュニケーションをとることが難しかったことです。解決策としては積極的に動くことを心掛け乗り切ることができました。

実習の機会は、新たな自分の発見となりとても貴重な経験となりました。周りのスタッフにも積極的な姿勢を評価してもらえてやりがいを感じ、自信にもつながった上、希望職種の1つであるグランドスタッフの空港業務の流れ、仕事の幅広さなど、この職種に対しとてもポジティブな印象をもちました。また、将来の進路としてお客様から評価を直接もらえるところが魅力である「接客業」に自分は興味、関心があることがわかったので、その点は大きな収穫となりました。

